

新実験棟が落成 津田沼



津田沼キャンパスに、都市環境工学科、建築学科などの実験室機能を移設し集約した新実験棟＝写真＝の建物が完成し、7月4日、瀬戸熊修理事長、松井孝典学長ら関係者約60人が出席して竣工式が行われた。

3階建て、土木建築の機器充実

▶ 構造材料実験室



竣工式に続き、直会の席で、瀬戸熊修理事長は「また一つ、学生のための教育環境が整い、嬉しい限りです。事故などなく無事に竣工できたことに感謝いたします」と、関係者一同にお礼の言葉を述べて、竣工を祝った。

新実験棟北側のファサードは、外壁が木調ルーバー（平行に並べた細長い羽板）の曲面で柔らかな包まれたシンボリックなデザイン。機能上、固くなりながらイメージを覆す建物で、緑に包まれたキャンパスに溶け込んでいる。

「自由でやわらかい発想を刺激し、未来に向けた新しい発見をもたらす研究が行える環境を」と設計されたという。

内部の新設備は、さまざまな実験へ対応の幅が広がった。南側外部には設備シャフトが設けられ、将来の設備拡張に対応できるフレキシブルな

9月から 供用開始

▶ 開放的なロビー、談話コーナーも



定。9号館として9月から供用開始される予定。

構造になっている。直会の締めくくりに、竹田康宏常務理事（建築）に励んだ思い出を語り、新装なった実験室で教育研究や卒論、修論に成果を出してほしいと望んだ。

階建てで、延べ床面積2287平方メートル、高さ約17メートル。これまでキャンパスの東側にあつて老朽化していた土木・建築関係の実験室・研究室を移設し、新たに構造材料実験室、水理実験室、土質実験室などとして配置される。

NEWS CIT

2022
7.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<https://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 山梨大と連携協定／大多喜高とも協定／瀬戸熊理事長が私学研修福祉会理事長に／名誉教授に2氏／令和5年度入試日程
- 3面 古賀さん国際会議で受賞／全日本理工科柔道女子で本山選手優勝／中川助教・SALチームの公共施設利用アプリが現場へ／PM国際資格に最多61人合格
- 4、5面 令和3年度決算を承認／学生共済会予算、決算を承認
- 6面 6月オープンキャンパス開く／環境科学研・村上研、ふなばし環境フェアに出展／令和4年度PPA地区懇談会会場一覽



▲ 7月4日に行われた竣工式

*** 節電実施中 ***

- 衣類で温度調節
- 設定温度にしよう (28°C)
- エアコンの使用を控え
- 節電モードで使
- コンセントはこまめに抜く
- 電気のスイッチはこまめに切ろう

CIT Brains 世界連覇

ロボカップ'22 バンコク大会



自律型ロボットの世界競技「ロボカップ2022」は7月11～16日、タイ・バンコクの国際展示センターに45カ国400チームが参加して競技や展示会が行われ、サッカー・ヒューマノイドリーグ・キッドサイズ部門で千葉工大「CIT Brains」チームが優勝＝写真。バーチャル大会で1位に輝いた昨年に続き、実機戦が復活した今年も連覇を飾った。混合競技のドロップイン部門でも1位、性能を競うテクニカルチャレンジでは3位に入賞した。(詳細は8・9合併号に)

山梨大と本学、連携協定

■ 国立・私立の枠を超え 学術教育に寄与



包括的連携協定締結式

協定式で(左から)島田学長、瀬戸熊理事長、松井学長 ⑤ 講演する古田所長

記念学術館大村記念ホール(甲府市)に両大学の役員らが出席して行われ、本学の瀬戸熊理事長、松井孝典学長と山梨大の島田眞路学長が協定書に署名した。

今後、教育面では大学院生の単位互換や各研究センターでの学部生・院生の研修、キャリア教育の交流などを予定。研究面ではロボット、惑星探査、クリーンエネルギー、医学、生命環境学の各分野でリソース(人材)を相互提供していく。

島田山梨大学長は「今回の協定が両大学の教育研究水準を向上させ、社会が求める課題解決や、地域の発展、それを支える科学技術の進展に寄与すると確信している」。

松井学長は「私立大・国立大の枠組みにとらわれ



古田所長は「技術は単なるツールです。料理の野菜と同じで、これを使っていかにおいしく料理を作るかが大事。みんなの口にあわつて、おいしいと思えるものにならないといけない」とロボット技術の社会実装を説いた。

さらに、furoがパナソニックと共同開発したロボット掃除機「ルイロ」や、アイシン精機と共同開発したパーソナルモビリティ「ILY-A」を紹介し、「私が行ってきたことはいかにロボット技術を世の中に普及していくかです」と語った。山梨大との連携協定については「誰にもできない基礎技術を作り、早く世の中に届ける。その志は山梨大と同じだ」と思っていますと述べた。

大多喜高とも連携協定

■ 本学、理系教育を支援

本学と県立大多喜高校(夷隅郡大多喜町)中間校長は6月27日、包括的な連携協定を締結した。協定式は大多喜高で行われ、松井孝典学長

瀬戸熊理事長 私立研修福祉会理事長に就任



た。初代理事長(大浜信泉・早稲田大総長1956〜57年)から数えて20代目の理事長となる。

同会は私学教職員の資質の向上を図るため1956(昭和31)年に設立。2012(平成24)年、一般財団法人に



(左から)松井学長、中間校長、瀬戸熊理事長 ① 松井学長の講演を聴く1年生たち



芳秀校長)は6月27日、包括的な連携協定を締結した。協定式は大多喜高で行われ、松井孝典学長



赤澤 元務氏



矢野 博夫氏

本学で長年、教鞭をとった2氏に、4月25日付で、学術の向上に寄与し、千葉工業大学名誉教授の称号が授与された。

名誉教授となったのは元社会システム科学部教育センター教授の赤澤元務氏(専門はドイツ語・ドイツ文学)と、元情報工学科教授の矢野博夫氏(専門は音響工学・建築音響・騒音など)。

松井学長が「世界初の、火星域からのサンプルリターンを目指すMMX探査」と題して記念講演を行った。

松井学長は「未来に希望が持てる話をしてほしいという要望に応え、皆さんが高校、大学を卒業する7年後に起きるであろう、日本が世界に誇れる未来の話をした」と考えました」と前置き。

宇宙航空研究開発機構(JAXA)が2024年に打ち上げ、今から7年後の29年に帰還を目指す火星探査計画について、はやぶさ2、はやぶさ3の路線を引き継いで、米航空宇宙局NASAに先駆けて火星圏から試料を持ち帰る計画を説明した。そして「初めて火星軌道上から試料を持ち帰ることで、生命の起源にかかわる大発見がもたらされるかもしれません」と語った。

令和5(2023)年度 千葉工業大学入学試験日程

総合型・学校推薦型・特別・編入学 (新型コロナウイルス感染症対策の影響により試験日程などが変更になる場合があります)

試験種別	願書受付期間	試験日	合格発表日
総合型(創造)選抜 [書類審査・課題演習・面接]	9/15(木)~9/30(金)(消印有効)	10/15(土)16(日)	11/1(火)
学校推薦型選抜(公募制) [書類審査・読解力テスト・面接]	11/2(水)~11/9(水)(消印有効) ※サテライト試験場(札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡)を開設し、サテライト試験場における受験者の面接はオンライン形式で実施	11/27(日)	12/1(木)
学校推薦型選抜(専門高校) [書類審査・読解力テスト・面接]			
学校推薦型選抜(指定校制) [一般高校・専門高校] [書類審査・小論文・面接]	11/2(水)~11/9(水)(消印有効)	11/20(日)	12/1(木)
学校推薦型選抜(帰国生徒指定校制) [書類審査・小論文・面接]	10/24(月)~11/9(水)(消印有効)		
特別選抜(帰国生徒) [書類審査・小論文・面接]	10/24(月)~11/9(水)(消印有効)	11/26(土)	12/1(木)
特別選抜(社会人) [書類審査・小論文・面接]			
特別選抜(外国人留学生) [書類審査・面接・日本留学試験結果]	9/26(月)~10/6(木)(必着)	11/26(土)	12/1(木)
編入学選抜 [書類審査・小論文・面接]3年次受入れ	9/26(月)~10/6(木)(必着)	11/26(土)	12/1(木)
編入学選抜(指定校制・高等専門学校) [書類審査・面接]3年次受入れ	9/26(月)~10/6(木)(必着)	[指定校制]11/20(日) [高等専門学校]11/26(土)	12/1(木)

【一般選抜】大学入学共通テスト利用入学試験・大学独自入学試験

試験種別	願書受付期間	試験日	合格発表日
大学入学共通テスト利用入学試験【前期】 (全学部・全学科入試)	12/22(木)~1/13(金)(消印有効)	1/14(土)15(日) 大学入学共通テスト (本学個別試験なし)	2/10(金)
大学入学共通テスト利用入学試験【中期】 (全学部・全学科入試)	2/6(月)~2/16(木)(消印有効)	1/14(土)15(日) 大学入学共通テスト (本学個別試験なし)	2/22(水)
大学入学共通テスト利用入学試験【後期】 (全学部・全学科入試)	2/20(月)~3/4(土)(消印有効)	1/14(土)15(日) 大学入学共通テスト (本学個別試験なし)	3/8(水)
大学独自入学試験A日程入学試験 (試験日自由選択方式、 全学部・全学科入試(同日併願方式))	12/22(木)~1/31(火)(消印有効)	2/1(水)2(木)3(金)4(土)	2/8(水)
大学独自入学試験SA日程入学試験 (試験日自由選択方式、 全学部・全学科入試(同日併願方式))			2/10(金)
大学独自入学試験B日程入学試験 (試験日自由選択方式、 全学部・全学科入試(同日併願方式))	2/6(月)~2/16(木)(消印有効)	2/17(金)18(土)	2/22(水)
大学独自入学試験SB日程入学試験 (試験日自由選択方式、 全学部・全学科入試(同日併願方式))			
大学独自入学試験C日程入学試験 (全学部・全学科入試(同日併願方式))	2/20(月)~3/4(土)(消印有効)	3/5(日)	3/8(水)

高効率レーザー給電で受賞

古賀さん 国際会議で発表

光・レーザー技術を検
討する光・フォトニクス
国際会議（OPIC20
22）OPI協議会が
統括主催し4月18〜22



日、横浜市・みなとみ
らいのパシフィコ横浜
で関連技術展と併催
で、古賀誠啓さん（先
端材料工学専攻修士1

年、内田史朗研究室（写
真）が「Investigation
of high efficiency
laser wireless power
transmission using
InGaP / InGAs / Ge
3-junction solar cells
(InGaP/GaAs/Ge)接
合太陽電池を使った高効
率レーザー無線給電の研
究」を発表し、「Student
Paper Award」を受賞し
た。

わる新材料で高効率太陽
電池を実現する研究をし
ている。
太陽電池は十分な日光
がないと電力が取り出せ
ない。これを解決しよう
と光ワイヤレス電力伝送
が提案され、シリコン系
太陽電池よりも高い変換
効率を持つ化合物系多接
合太陽電池が注目されて
いる。

古賀さんは、化合物系
3接合太陽電池に3種類
のレーザーを同時照射し
電力を伝送する光無線給
電システムの実現性を検
討し実験。太陽光下を上
回る光電変換効率を確認
した。

初めての学会発表で試
行錯誤。英語での口頭発
表で対応力が問われたと
いう。古賀さんは「受賞
をうれしく思います。内
田先生と研究室の方々に
協力していただきました
。今後も研究に励んで
いきたいです」と語って
いる。

記者会見で明らかにし
た。
システムは、南房総
市内のコミュニティ
センターや公民館、体
育館など公共施設の利
用予約をスマートフォン
とパソコンでできる
ようDX化（Digital
Transformation）して
いた。中川助教は「IT
エンジニアの育成を担当
し、2017（平成29）

年度から、南房総市の教
育事業関連にデジタル化
を導入して現場負担を軽
減する取り組みを開始し
た。
18年度には新科目とし
て、社会に触れながら学
修する特別教養科目ソー
シャルアクティブラー
ニング（SAL）が始動。
受講生たちがポランテ
ィアとして①徘徊者発見
アプリ・システム②公共
施設活用アプリ・シス
テム③の2つを開発す
るプロジェクトを立ち上
げた。
20年の新型コロナウイルス感
染拡大を受け、公共施設利
活用アプリが人同士の接
触を減らす上で有効と捉
えられて事業化が一気に
進み、学生の提案したシ
ステムを基に「南房総市
公共施設利用スマートフォン
推進事業」として市や（株）
富士通と協働で開発・実
証実験を進めてきた。

公共施設利用アプリ、現場へ

中川助教・SALチームが開発

中川泰宏・情報ネット
ワーク学助が担当
し、学生・南房総市・企
業の産官学連携で取り組
んできた同市の行政デジ
タル化のうち、公共施設
利用アプリ・システム

の成果が、8月ごろの運
用開始を目標に現場でス
タートすることになっ
た。市が3月22日の定例

に打ち込み、利用施設の
カギを受け取る仕組み。
無人キーボックスは既
に富浦・富山・三芳・白
浜・千倉・丸山・和田の
7地区に設置されてい

た。市が3月22日の定例
に打ち込み、利用施設の
カギを受け取る仕組み。
無人キーボックスは既
に富浦・富山・三芳・白
浜・千倉・丸山・和田の
7地区に設置されてい

た。市が3月22日の定例
に打ち込み、利用施設の
カギを受け取る仕組み。
無人キーボックスは既
に富浦・富山・三芳・白
浜・千倉・丸山・和田の
7地区に設置されてい

た。市が3月22日の定例
に打ち込み、利用施設の
カギを受け取る仕組み。
無人キーボックスは既
に富浦・富山・三芳・白
浜・千倉・丸山・和田の
7地区に設置されてい

女子個人、本山選手が優勝

全日本理工科柔道 男子団体3位



好成績を収めた千葉工大柔道部。前列右から3人目が本山選手

令和4年度（第63回）
全日本理工科学生柔道優
勝大会が6月26日、講道
館（東京都文京区）で、
新型コロナウイルスのため種
目を男子団体、女子個
人、男子無段個人に絞っ
て開催された。
本学体育会柔道部
（佐々木練主将）電気電

工工科学科4年II部員26
人、女子個人で本山
小恭選手（金融・経営
リクス科学科1年）が優
勝、田中このみ選手（未
来ロボティクス科学科2
年）が3位。男子は無段
個人で佐々木涼輔選手
（機械工科学科2年）と有
田大翼選手（電気電子工
科学科1年）が3位。男子
団体でも3位に入賞し、
佐野翔太選手（知能メテ
ィア工科学科1年）が技術
優秀賞を受賞した。

女子個人の決勝戦、試
合時間は3分。本山選手
の右組みに対し相手も右
の相四つ。本山選手は厳
しい組み手争いから足技
を繰り出しクレバーな柔
道を展開した。
払い腰、左の一本背負
い、出足払いを軸に力強
くテンポよい攻撃を組み
立て、相手は防戦一方。
1分半過ぎ、相手の消極

姿勢に「指導」。本山選
手は攻め続け、2分半過
ぎ、相手に再度「指導」。
指導差の優勢勝ちで優
勝を果たした。
本山選手の話 昨年度
山口県代表インターハイ
選手として、強い気持ち
で試合に臨みました。4
月から休まず稽古をつけ
てくださった金子満男先
生（元同窓会事務局）、
須長悌治先生、学業・精
神面でサポートいただい
ている坂本幸弘部長（先
端材料工科学科教授）のお
陰で優勝できました。年
齢を重ねても現役の柔道
家として精進を重ねてお
られる先生方の姿勢か
ら、私自身、改めて真摯
に柔道に取り組まなけれ
ばならないと認識しまし
た。在学中に4連覇する
ことで、先生方の御恩に
報いるよう、引き続き柔
道の道を極めます。

参加学生たち（敬称
略・所属は当時）
【18年度】稲葉航平、
石神拓真、櫻井大毅、中
村一紀（以上情報ネット
ワーク学）
【19年度】吉田春香情
実（生命科学科）

2018年度SAL最終報告会での展示デモ。
左は設置された無人キーボックスの1つ

PM国際資格に最多61人合格
米国プロジェクトマネ
ジメント協会（PMI）が
認定するプロジェクト
マネジメントの国際資
格CAPM®（Certified
Associate in Project Mana
gement）の2021年度
取得試験に、本学では過
去8年で最多の61人が合
格した。写真は資格証を
手にした合格者たち。
CAPM®はビジネス
に必要な「目標設定・計
画・実行・修正」のプロ
ジェクトマネジメント
（PM）能力をテ
スト。コンピュ
ーターで受験し
3時間で150
問に解答する。
受験資格は、実
務経験を150
0時間以上積み
むか、23時間の公
式研修を受講す
ることが条件。
このため本学
では毎年7〜9
月にPPA特別
教養講座の支援
のもと、学内で
9月4日の短期集

20年度から、南房総市の教
育事業関連にデジタル化
を導入して現場負担を軽
減する取り組みを開始し
た。
18年度には新科目とし
て、社会に触れながら学
修する特別教養科目ソー
シャルアクティブラー
ニング（SAL）が始動。
受講生たちがポランテ
ィアとして①徘徊者発見
アプリ・システム②公共
施設活用アプリ・シス
テム③の2つを開発す
るプロジェクトを立ち上
げた。
20年の新型コロナウイルス感
染拡大を受け、公共施設利
活用アプリが人同士の接
触を減らす上で有効と捉
えられて事業化が一気に
進み、学生の提案したシ
ステムを基に「南房総市
公共施設利用スマートフォン
推進事業」として市や（株）
富士通と協働で開発・実
証実験を進めてきた。

PM国際資格に最多61人合格
米国プロジェクトマネ
ジメント協会（PMI）が
認定するプロジェクト
マネジメントの国際資
格CAPM®（Certified
Associate in Project Mana
gement）の2021年度
取得試験に、本学では過
去8年で最多の61人が合
格した。写真は資格証を
手にした合格者たち。
CAPM®はビジネス
に必要な「目標設定・計
画・実行・修正」のプロ
ジェクトマネジメント
（PM）能力をテ
スト。コンピュ
ーターで受験し
3時間で150
問に解答する。
受験資格は、実
務経験を150
0時間以上積み
むか、23時間の公
式研修を受講す
ることが条件。
このため本学
では毎年7〜9
月にPPA特別
教養講座の支援
のもと、学内で
9月4日の短期集

PM国際資格に最多61人合格
米国プロジェクトマネ
ジメント協会（PMI）が
認定するプロジェクト
マネジメントの国際資
格CAPM®（Certified
Associate in Project Mana
gement）の2021年度
取得試験に、本学では過
去8年で最多の61人が合
格した。写真は資格証を
手にした合格者たち。
CAPM®はビジネス
に必要な「目標設定・計
画・実行・修正」のプロ
ジェクトマネジメント
（PM）能力をテ
スト。コンピュ
ーターで受験し
3時間で150
問に解答する。
受験資格は、実
務経験を150
0時間以上積み
むか、23時間の公
式研修を受講す
ることが条件。
このため本学
では毎年7〜9
月にPPA特別
教養講座の支援
のもと、学内で
9月4日の短期集

PM国際資格に最多61人合格
米国プロジェクトマネ
ジメント協会（PMI）が
認定するプロジェクト
マネジメントの国際資
格CAPM®（Certified
Associate in Project Mana
gement）の2021年度
取得試験に、本学では過
去8年で最多の61人が合
格した。写真は資格証を
手にした合格者たち。
CAPM®はビジネス
に必要な「目標設定・計
画・実行・修正」のプロ
ジェクトマネジメント
（PM）能力をテ
スト。コンピュ
ーターで受験し
3時間で150
問に解答する。
受験資格は、実
務経験を150
0時間以上積み
むか、23時間の公
式研修を受講す
ることが条件。
このため本学
では毎年7〜9
月にPPA特別
教養講座の支援
のもと、学内で
9月4日の短期集

千葉工業大学決算（3令和）を承認

学校法人千葉工業大学の令和3年度決算が、5月26日の理事会・評議員会で承認された。（3年度事業報告の全文は本学ウェブサイトで公開中）

1 教育研究活動

- (1) 入学試験関係
 - 令和4（2022）年度入学試験における学部入学試験の総志願者数は14万528人（前年度11万226人、前年度比27%増）となった。
 - (2) I20分授業導入における教育効果の継続的検証
 - (3) 学生満足度向上に向けた対策の充実・強化
 - (4) 教養基礎教育カリキュラムの充実
- (5) 初年次教育の充実と総合的なサポート体制
- (6) 学修成果の可視化への取り組み
- (7) 習熟度別教育の充実
- (8) 包括協定に基づく他大学との連携事業
- (9) 大学院志願者増加に向けた取り組み
- (10) 大学院工学研究科改編における機能検証と改善の取り組み
- (11) J A B E E（日本技術者教育認定機構）認定の取り組み

2 研究推進活動

- (1) 海外交流協定大学との連携強化とグローバル化
- (2) 惑星探査ミッションへの参加
- (3) 感星探査研究センター（PERC）
- (4) 外部からの資金獲得
- (5) その他（展示、記者発表等）

教育活動収入の部		科目	予算	決算	差異
教育活動収入	事業活動収入	学生生徒等納付金	14,554,900,000	14,610,289,150	△55,389,150
		手数料	275,000,000	258,287,779	16,712,221
		寄付金	191,400,000	232,752,290	△41,352,290
		経常費等補助金	1,074,900,000	1,099,225,593	△24,325,593
		付随事業収入	689,000,000	778,478,223	△89,478,223
		雑収入	448,100,000	577,488,148	△129,388,148
		教育活動収入計	17,233,300,000	17,556,521,183	△323,221,183
教育活動支出の部	事業活動支出	人件費	7,664,600,000	7,606,969,829	57,630,171
		教育研究経費	6,898,300,000	6,681,373,335	216,926,665
		管理経費	1,771,600,000	1,709,594,560	62,005,440
		徴収不能額等	1,000,000	985,098	14,902
		教育活動支出計	16,335,500,000	15,998,922,822	336,577,178
教育活動収支差額		897,800,000	1,557,598,361	△659,798,361	
教育活動外収入の部		科目	予算	決算	差異
教育活動外収入	事業活動収入	受取利息・配当金	485,000,000	488,951,195	△3,951,195
		その他の教育活動外収入	208,800,000	208,845,900	△45,900
		教育活動外収入計	693,800,000	697,797,095	△3,997,095
教育活動外支出の部	事業活動支出	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	40,000	0	40,000
		教育活動外支出計	40,000	0	40,000
教育活動外収支差額		693,760,000	697,797,095	△4,037,095	
経常収支差額		1,591,560,000	2,255,395,456	△663,835,456	
特別収支		科目	予算	決算	差異
特別収支	事業活動収入	資産売却差額	232,300,000	232,362,156	△62,156
		その他の特別収入	79,500,000	98,560,465	△19,060,465
		特別収入計	311,800,000	330,922,621	△19,122,621
		特別支出の部	事業活動支出	資産処分差額	4,800,000
その他の特別支出	0			0	0
特別支出計	4,800,000			4,779,855	20,145
特別収支差額		307,000,000	326,142,766	△19,142,766	
基本金組入前当年度収支差額(予備含む)	1,898,560,000	2,581,538,222	△682,978,222		
基本金組入額合計	△21,200,000	0	△21,200,000		
当年度収支差額	1,877,360,000	2,581,538,222	△704,178,222		
前年度繰越収支差額	△5,469,500,000	△5,469,501,627	1,627		
基本金取崩額	0	47,157,171	△47,157,171		
翌年度繰越収支差額	△3,592,140,000	△2,840,806,234	△751,333,766		
事業活動収入計	18,238,900,000	18,585,240,899	△346,340,899		
事業活動支出計	16,340,340,000	16,003,702,677	336,637,323		

貸借対照表

令和4年3月31日

(単位：円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	111,044,592,277	111,303,145,909	△258,553,632
有形固定資産	62,196,272,355	63,503,254,063	△1,306,981,708
土地	9,343,367,496	9,343,367,496	0
建物	44,722,722,041	46,747,149,708	△2,024,427,667
構築物	2,505,054,024	2,745,180,443	△240,126,419
教育研究用機器備品	2,439,294,843	2,461,439,976	△22,145,133
管理用機器備品	198,119,858	295,086,647	△96,966,789
図書	1,834,627,550	1,819,082,991	15,544,559
車両	74,949,543	91,946,802	△16,997,259
建設仮勘定	1,078,137,000	0	1,078,137,000
特定資産	45,783,632,267	45,864,219,370	△80,587,103
第2号基本金引当特定資産	3,880,275,470	4,958,372,470	△1,078,097,000
第3号基本金引当特定資産	10,000,000,000	10,000,000,000	0
退職給与引当特定資産	3,000,000,000	3,000,000,000	0
減価償却引当特定資産	28,500,000,000	27,500,000,000	1,000,000,000
国際交流支援基金引当特定資産	100,000,000	100,000,000	0
PCB処理引当特定資産	303,356,797	305,846,900	△2,490,103
その他の固定資産	3,064,687,655	1,935,672,476	1,129,015,179
ソフトウェア	183,051,000	194,073,000	△11,022,000
長期貸付金	298,102,375	281,810,446	16,291,929
差入保証金	3,000,000	3,000,000	0
敷金	54,749,760	54,749,760	0
投資有価証券	2,525,622,850	1,401,877,600	1,123,745,250
預託金	161,670	161,670	0
流動資産	15,634,256,629	13,061,354,520	2,572,902,109
現金預金	15,081,672,688	12,610,251,288	2,471,421,400
未収入金	475,887,732	392,112,179	83,775,553
前払金	76,696,209	58,991,053	17,705,156
資産の部合計	126,678,848,906	124,364,500,429	2,314,348,477
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	3,227,013,149	3,255,866,244	△28,853,095
退職給与引当金	3,227,013,149	3,255,866,244	△28,853,095
流動負債	6,633,234,710	6,871,571,360	△238,336,650
前受金	5,763,894,270	6,023,130,164	△259,235,894
未払金他	869,340,440	848,441,196	20,899,244
負債の部合計	9,860,247,859	10,127,437,604	△267,189,745
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	119,659,407,281	119,706,564,452	△47,157,171
第1号基本金	104,787,131,811	103,756,191,982	1,030,939,829
第2号基本金	3,880,275,470	4,958,372,470	△1,078,097,000
第3号基本金	10,000,000,000	10,000,000,000	0
第4号基本金	992,000,000	992,000,000	0
繰越収支差額	△2,840,806,234	△5,469,501,627	2,628,695,393
翌年度繰越収支差額	△2,840,806,234	△5,469,501,627	2,628,695,393
純資産の部合計	116,818,601,047	114,237,062,825	2,581,538,222
負債及び純資産の部合計	126,678,848,906	124,364,500,429	2,314,348,477

- (2) 国又は地方公共団体等からの競争的研究資金等の獲得支援
- (3) 民間からの奨学金付金及び受託研究費
- (4) 研究助成関係
 - ① 特許出願
 - ② 特許
 - ③ 附属研究所
- (5) 未来ロボット技術研究センター（furo）
- (6) 惑星探査研究センター（PERC）
- (7) 人工知能・ソフトウェア技術研究センター（STAR Lab）
- (8) 次世代海洋資源研究センター（ORCeNG）

世界初の海洋資源開発実現に向けて、海洋資源の探査・揚鉱・選鉱・製錬といった基礎から応用に至る多様な研究開発を実施する機関として平成28（2016）年4月に発足した。令和3（2021）年度は、常勤6名、非常勤4名の研究員が研究に従事した。

ファイナンス研究及びデータサイエンス機構（DSI）における研究、地域貢献等を進めた。補助スタッフを含めても小規模の体制であり、かつ、新型

機能搭載された未端型機器の横断的なセキュリティ評価の

ための研究の3つを軸に多岐にわたる研究・開発を進め、多くの成果を上げた。

コロナウイルス感染症関連の状況下だが、令和3（2021）年度も諸活動全般に渡り着実な進捗を見ることが出来、各界からの期待の声の高まりに活動の一層の充実への責務をさらに深く感じる1年となった。

現代のグローバル化やAI化によっても揺らぐことのない、

独自性にみちた日本文化の根源的構造の類型を探り、未来へ向けてその可能性を開いていくことを目的として、令和3（2021）年4月に発足した。

新築工事

(1) 公開講座

(2) 産官学連携協議会関係

(3) その他の産学連携

(4) 図書館の開放等を通じて、地域・社会に貢献

(5) 県内地域との包括的連携協定の締結

(6) ちばSDGsパートナーへの参加

6 法人管理・運営関係

(1) ガバナンス・コードの策定・運用管理

(2) 化学物質等の管理強化

- (1) 学生支援の充実強化（学生相談、課外活動、学生寮、奨学金等）
- (2) 学生共済会の充実
- (3) 留学生の派遣及び受け入れ体制の充実
- (4) 学生の学習・教育支援に必要な図書資料の充実
- (5) 電子書籍等の学術情報資源の整備強化
- (6) 学生への図書館サービス向上

4 施設設備整備関係

(1) 津田沼校舎（仮称）新実験棟

(2) 新習志野校舎8号館

(3) 西浜運動施設

(4) その他

5 地域・社会への貢献

(1) 公開講座

(2) 産官学連携協議会関係

(3) その他の産学連携

(4) 図書館の開放等を通じて、地域・社会に貢献

(5) 県内地域との包括的連携協定の締結

(6) ちばSDGsパートナーへの参加

6 法人管理・運営関係

(1) ガバナンス・コードの策定・運用管理

速する男性リーダーの

会行動宣言の取り組み

(6) 事務システムの統一化

- と事務業務の効率化
- (7)基幹ネットワークのセキュリティ強化
- (8)無線LANの安定稼働
- (9)情報セキュリティ教育の充実
- (10)公的研究費等の監査の実施
- (11)自己管理型点検評価チェックシステムの実施
- (12)公益通報制度の充実
- 7 新型コロナウイルスに関連した本学の対応について
 - (1)大学への入構
入構時に検温所のサーマルカメラによる体温測定及びアルコールによる手指消毒など
 - (2)建物・講義室
各教室で収容する学生数を座席定員の70%に制限するなど
 - (3)学生食堂
飛沫感染防止のため衝立を設置し、十分な座席間隔がとれるように椅子を間引くなど
 - (4)授業・研究室
授業を工夫し、3密を回避して運営するなど
 - (5)コンピュータ演習室
十分な座席間隔をとるよう使用できるパソコンを制限するなど
 - (6)学生寮
入寮時、長期休暇後に抗原検査を実施するなど
 - (7)学費・学生生活などへの学生支援
 - (8)新型コロナウイルスワクチン
職域接種を3回実施

8 財務の概要

(1)教育活動収支
①教育活動収入計175億5700万円(予算比3億2300万円増 前年度比3億8500万円増)

教育活動収入計は、ほとんどの科目で予算比増となった。

②教育活動支出計159億9000万円(予算比3億3700万円減 前年度比3億700万円減)

億1300万円増)

a. 人件費は、全ての科目で予算比減となったが、前年度比では教職員人件費などの増加により1億9200万円増となった。人件費比率は41.7%で、理工系他複数学部を有する私立大学の平均値(47.6%)に比べ、引き続き良好な水準となった。

b. 教育研究経費は、消耗品費、修繕費、委託費等で予算額を下回り、予算比2億1700万円減となった。前年度比では受託研究費や消耗品費等の増加により7300万円増となった。教育研究経費比率は36.6%で、理工系他複数学部を有する私立大学の平均値37.7%に比べ若干低い値となった。

c. 管理経費は、予算比6200万円減となったが、前年度

比では光熱水費などの増加により4800万円増となった。管理経費比率は9.4%で、理工系他複数学部を有する私立大学の平均値(5.8%)と比べ若干高いが、今後更なる経費圧縮に努めていく。

(2)教育活動外収支
教育活動外収入計は、有価証券の受取利息・配当金及び為替差益により、6億9800万円となった。

(3)特別収支
教育活動外支出はなし。

(4)特別収入計は、有価証券売却差額で2億3200万円、現物寄付で8900万円、施設設備補助金で1000万円、あわせて3億3100万円となった。

特別支出計は、図書処分差額で500万円となった。

(5)事業活動収入計185億8500万円(予算比3億4600万円増 前年度比3億4600万円増)

主な内訳：消耗品費1億7100万円増、修繕費1億3100万円減、委託費7100万円減、受託研究費1億1500万円増

管理経費4800万円増

主な内訳：光熱水費2800万円増、広報費2800万円増、会議渉外費3100万円増、減価償却額9100万円減

(6)基本金組入前当年度収支差額25億8200万円(予算比6億8300万円増 前年度比2億8700万円増 事業活動収支差額比率13.9%)

(7)基本金組入額 取り崩し4700万円

(8)当年度収支差額 当年度収支差額は25億8200万円の収入超過となった。翌年度の繰越収支差額は、前年度繰越収支差額及び基本金取崩額を合わせると、28億4100万円の支出超過となった。

(9)今後の課題
今後も引き続き財務基盤の安定をはかるため、次のような課題に取り組んでいく。

△収入面▽
①学生生徒等納付金の安定的確保
②外部資金の獲得強化
③より効果的な資産運用とリスク管理の徹底
④その他の収入源確保策の検討

△支出面▽
①管理経費の効率化
②教育研究経費の見直し

資金収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位：円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	14,554,900,000	14,610,289,150	△55,389,150
手数料収入	275,000,000	258,287,779	16,712,221
寄付金収入	191,400,000	232,762,290	△41,362,290
補助金収入	1,084,400,000	1,108,769,593	△24,369,593
資産売却収入	232,300,000	232,362,156	△62,156
付随事業・収益事業収入	689,000,000	778,478,223	△89,478,223
受取利息・配当金収入	485,000,000	488,951,195	△3,951,195
雑収入	656,900,000	757,513,749	△100,613,749
前受金収入	5,110,000,000	5,759,800,644	△649,800,644
その他の収入	9,142,700,000	10,314,461,413	△1,171,761,413
資金収入調整勘定	△6,264,900,000	△6,494,795,765	229,895,765
前年度繰越支払資金	12,610,200,000	12,610,251,288	
収入の部合計	38,766,900,000	40,657,131,715	△1,890,231,715

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	7,664,600,000	7,606,969,829	57,630,171
教育研究経費支出	4,345,900,000	4,128,914,578	216,985,422
管理経費支出	1,139,340,000	1,077,603,059	61,736,941
施設関係支出	1,169,100,000	1,192,328,000	△23,228,000
設備関係支出	701,400,000	589,924,736	111,475,264
資産運用支出	6,341,600,000	8,343,728,747	△2,002,128,747
その他の支出	3,126,000,000	3,321,414,212	△195,414,212
資金支出調整勘定	△359,000,000	△685,424,134	326,424,134
翌年度繰越支払資金(予備含む)	14,637,960,000	15,081,672,688	△443,712,688
支出の部合計	38,766,900,000	40,657,131,715	△1,890,231,715

主な内訳：消耗品費1億7100万円増、修繕費1億3100万円減、委託費7100万円減、受託研究費1億1500万円増

管理経費4800万円増

主な内訳：光熱水費2800万円増、広報費2800万円増、会議渉外費3100万円増、減価償却額9100万円減

(6)基本金組入前当年度収支差額25億8200万円(予算比6億8300万円増 前年度比2億8700万円増 事業活動収支差額比率13.9%)

(7)基本金組入額 取り崩し4700万円

(8)当年度収支差額 当年度収支差額は25億8200万円の収入超過となった。翌年度の繰越収支差額は、前年度繰越収支差額及び基本金取崩額を合わせると、28億4100万円の支出超過となった。

(9)今後の課題
今後も引き続き財務基盤の安定をはかるため、次のような課題に取り組んでいく。

△収入面▽
①学生生徒等納付金の安定的確保
②外部資金の獲得強化
③より効果的な資産運用とリスク管理の徹底
④その他の収入源確保策の検討

△支出面▽
①管理経費の効率化
②教育研究経費の見直し

令和4年度千葉工業大学学生共済会収支予算

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 会費収入	24,000,000	1. 支払保険料	25,000,000
2. 入会金収入	4,600,000	2. 給付金	2,000,000
3. 受取利息	2,500,000	3. 貸与金	10,000,000
4. 貸付金回収収入	10,000,000	4. 委託費	7,200,000
5. 手数料収入	1,000,000	5. 消耗品費	3,000,000
		6. 通信費	50,000
		7. 印刷費	50,000
		8. 会議費	100,000
		9. 支払手数料	400,000
		10. 事務費	50,000
		11. 寄付金支出	20,000,000
小計	42,100,000	小計	67,850,000
前年度繰越金	29,151,650	次年度繰越金	3,401,650
総合計	71,251,650	総合計	71,251,650

令和3年度決算報告書

貸借対照表
令和4年3月31日
千葉工業大学学生共済会

資産の部		正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
普通預金	29,151,650	共済基金	205,000,000
定期預金	125,000,000	積立金	55,000,000
貸付金	51,275,683	貸付充当金	51,275,683
投資有価証券	300,000,000	学費貸与準備金	165,000,000
		次年度繰越金	29,151,650
合計	505,427,333	合計	505,427,333

令和3年度収支決算書

自 令和3年4月1日 : 至 令和4年3月31日

I 収入の部			
科目	予算額(①)	決算額(②)	対予算差額(②-①)
1. 会費収入	24,000,000	24,917,500	917,500
2. 入会金収入	4,600,000	4,680,000	80,000
3. 受取利息	2,500,000	2,543,470	43,470
4. 貸付金回収収入	12,000,000	14,302,917	2,302,917
5. 手数料収入	1,100,000	933,341	-166,659
6. 学費貸与準備金取崩収入	0	0	0
7. 積立金取崩収入	30,000,000	30,000,000	0
8. 当期小計	74,200,000	77,377,228	3,177,228
9. 前年度繰越金	41,624,796	41,624,796	0
10. 当期収入総計(A)	115,824,796	119,002,024	3,177,228

II 支出の部

科目	予算額(①)	決算額(②)	対予算差額(②-①)
1. 支払保険料	25,000,000	24,288,810	-711,190
2. 給付金	3,000,000	869,500	-2,130,500
3. 貸与金	10,000,000	4,275,000	-5,725,000
4. 委託費	7,200,000	7,178,600	-21,400
5. 消耗品費	3,000,000	2,970,000	-30,000
6. 通信費	50,000	7,180	-42,820
7. 印刷費	50,000	9,350	-40,650
8. 会議費	200,000	14,996	-185,004
9. 支払手数料	400,000	234,111	-165,889
10. 事務費	50,000	2,827	-47,173
11. 寄付金支出	50,000,000	50,000,000	0
12. 学費貸与準備金組入支出	0	0	0
13. 共済基金組入支出	0	0	0
14. 積立金組入支出	0	0	0
15. 当期小計(B)	98,950,000	89,850,374	-9,099,626
16. 次年度繰越金(A)-(B)	16,874,796	29,151,650	12,276,854
17. 当期支出総計	115,824,796	119,002,024	3,177,228

注)共済会の会計では、継続的に資金の収支を確認するため、金額がゼロの科目について省略することなく記載している。

学生共済会 予算、決算を承認

令和4年度学生共済会予算案は、理事会で協議した結果、異議なく承認された。

予算の概要は次のとおり。

△収入の部▽
●受取利息
投資有価証券から発生する利息として250万円を計上した。

●前年度繰越金
2915万1650円を計上した。

△支出の部▽
●給付金
給付金支出金額は、昨年より減少した。

●消耗品費
災害時の非常用保存食の購入費として、300万円を計上した。

●寄付金
令和4年度学生共済会予算案は、理事会で協議した結果、異議なく承認された。

●学費貸与金
学費貸与金支出額は、昨年度427万円程度だったが、学生納付金貸与金として、1000万円を計上した。

●委託費
昨年同様「こころからだの元気サポート」、「暮らしの身近な法律相談」の継続に係る費用として、720万円を計上した。

●収入の部では、貸付金回収1430万円、受取利息等を併せ合計約1億1900万円となった。

●支出の部では、新型コロナウイルス禍に対する学費貸与金として5000万円を大学へ寄付した。今後も保険事業の見直しや会員の健康増進につながる支援等充実したサポートができるよう共済会事業の運営に努めたい。

千葉工業大学学生共済会も34年目を迎へ、会員の学生生活が豊かなものとなるよう支援し、制度の充実を図りつつ、令和3年度も順調に運営できましたことを報告致します。

対面、予約、2部制で

6月オープンキャンパス開く

6月のオープンキャンパスが19日(日)、津田沼キャンパスで開かれた。今年度初、夏のオープンキャンパスとしては、いつものメインイベント「全部見せます、千葉工大！」は、事前にウェブサイトに移行して公開。当日は、学科による総合型選抜説明会、学科による学び体験を中心とした実施した。

来場した高校生や保護者たちは、6、7号館を

中心に展開された学科イベントに参加し、希望学科の特徴を目で見て、体験した。同伴保護者たちも積極的にイベントに参加したため、保護者説明会は満席に。急遽、講演を追加して対応した。

在学からナマの声が聞ける「在学生にきいてみよう」や、津田沼キャンパスを効率的に見学できる「図書館見学」など、



午前・午後の組に分けて入構前に検温



チバニーも受験生たちを案内



音環境実験スタジオで



在学生に聞いてみようコーナー



図書館を見学

令和4年度 PPA地区懇談会会場

開催時刻：13時(本学は12時30分)

地区	開催日	会場名	電話
札幌	9月4日(日)	ホテルマイステイズ札幌アスペン	011-700-2111
函館	9月3日(土)	函館国際ホテル	0138-23-5151
釧路	9月3日(土)	釧路プリンスホテル	0154-31-1111
青森	9月4日(日)	ホテルJALシティ青森	017-732-2580
盛岡	9月11日(日)	ホテルメトロポリタン盛岡本館	019-625-1211
仙台	9月11日(日)	ホテルJALシティ仙台	022-711-2580
秋田	9月10日(土)	秋田キャッスルホテル	018-834-1141
山形	9月3日(土)	ホテルメトロポリタン山形	023-628-1111
酒田	9月4日(日)	ホテルリッチ&ガーデン酒田	0234-26-1111
会津	9月10日(土)	会津若松ワシントンホテル	0242-22-6111
福島	9月11日(日)	グランパークホテルエクセル福島恵比寿	024-533-4166
いわき	9月3日(土)	いわきワシントンホテル	0246-35-3000
水戸	9月4日(日)	水戸京成ホテル	029-226-3111
土浦	9月3日(土)	ホテル日航つくば	029-852-1112
潮来	9月3日(土)	潮来ホテル	0299-62-3130
宇都宮	9月10日(土)	ホテルニューイタヤ	028-635-5511
小山	9月11日(日)	小山グランドホテル	0285-24-5111
高崎	9月10日(土)	高崎ワシントンホテルプラザ	027-324-5111
さいたま	9月11日(日)	ロイヤルバインズホテル浦和	048-827-1111
新潟	9月11日(日)	ホテルオークラ新潟	025-224-6111
長岡	9月10日(土)	ホテルニューオータニ長岡	0258-37-1111
富山	9月3日(土)	ホテルグランドテラス富山	076-431-2211
甲府	9月11日(日)	ホテル談話館	055-237-1331
長野	9月4日(日)	ホテルJALシティ長野	026-225-1131
松本	9月10日(土)	アルピコプラザホテル	0263-36-5055
小諸	9月3日(土)	小諸グランドキャッスルホテル	0267-22-8000
静岡	9月4日(日)	ホテルアソシア静岡	054-254-4141
浜松	9月3日(土)	オークラクトシティホテル浜松	053-459-0111
沼津	9月3日(土)	プラザヴェルテ	055-920-4100
名古屋	9月10日(土)	サンルートプラザ名古屋	052-571-2221
大阪	9月11日(日)	大阪新阪急ホテル	06-6372-5101
広島	9月10日(土)	リーガロイヤルホテル広島	082-502-1121
松山	9月3日(土)	ホテルマイステイズ松山	089-913-2580
高知	9月4日(日)	ザクラウンパレス新阪急高知	088-873-1111
福岡	9月11日(日)	オリエンタルホテル福岡	092-461-0170
大分	9月10日(土)	レンプラントホテル大分	097-545-1040
宮崎	9月4日(日)	ホテルJALシティ宮崎	0985-25-2580
鹿児島	9月3日(土)	SHIROYAMA HOTEL kagoshima	099-224-2211
那覇	9月10日(土)	ホテルロイヤルオリオン	098-866-5533
本学	9月25日(日)	津田沼校舎2号館3階大教室	047-478-0209

「第25回ふなばし環境フェア」見よう、知ろう、踏み出そう、地球の今と未来のために(船橋市のフェア実行委員会主催)が6月18日、ふなばし三番瀬海浜公園・環境学習館で開催された。本学は文化会環境科学研究会(部長・田中緑さん)と先端材料工学科2年、部員29人)と生命科学科・村上和仁教授の研究室が、SDGsが掲げる17の目標に沿って出展し、参加者たちと交流した。



環境科学研・村上研が出展。第25回ふなばし環境フェア。DGS6「安全な水とトイレを世界中に」関連。写真上 継続的に実施している印刷の水質調査結果をパネル展示し、pHメーター、バックテスト、クリンメジャーで水質分析のデモンストレーションを行った。村上研(SDGs14「海の豊かさを守ろう」)「海の豊かさを守ろう」関連。写真下 3年次後期に研究室単位で開講される生命科学準備実験で実施した、谷津干潟保全に関する調査研究(環境変遷)水質評価(底生生物及び付着珪藻による環境評価)水環境健全性)をパネル展示。会場では来場者参加型の水環境健全性指標調査も行った。新型コロナウイルス感染防止策として行われたが、晴天に恵まれて48団体約2400人が来場。行政関係やNPOの出展が多く、生態系調査や環境分析で有意義な情報交換をすることができたという。

環境科学研・村上研が出展

第25回ふなばし環境フェア

「第25回ふなばし環境フェア」見よう、知ろう、踏み出そう、地球の今と未来のために(船橋市のフェア実行委員会主催)が6月18日、ふなばし三番瀬海浜公園・環境学習館で開催された。本学は文化会環境科学研究会(部長・田中緑さん)と先端材料工学科2年、部員29人)と生命科学科・村上和仁教授の研究室が、SDGsが掲げる17の目標に沿って出展し、参加者たちと交流した。

PPA



先日、地元町内会の役員会で、今年の夏祭りの実施有無について議論が取り交わされた。町会の4大行事の一つである夏祭りは、コロナの影響で昨年、一昨年と中止になっている。5月の連休に佐原で行われた「山車の特別曳き回し」を見学していた私は、感染対策を

実施した上でお祭りを行っている佐原の方々の姿を見て「今年は何かできるかもしれない」と考えていた。何より大人も子供も一緒になって楽しんでる姿がとても羨ましかったのだ。しかし私の思いとは裏腹に議論は進み、結局今年の夏祭りは中止となってしまった。それどころか、最寄りの自衛隊や市の夏祭りも次々と中止が決まっていた。まだまだ日常を取り戻すには時間がかかり

平坦で、こんなのも初めて。奈良では若草山が見えた。今はビルと住宅だけ。関東平野広い。と思っていたが、冬の晴天の朝に限れば、アパートのバルコニーからも富士山が望めるのに気づいた。ふなっしーは知っているが、千葉県が梨の生産量日本一とは知らなかった。そして好物でもなかったが、近所の梨園に行くと考えが変わる。昨年は猛暑のため収穫が早まり、幸水も豊水も買いき

そう。そんな中、6月25日にPPA理事会と個別面談が開催された。残念ながら総会は中止となったが、キャンパスの雰囲気や感染対策を見ていただき、各学科の教員と交流を図っていただく良い機会になったと考えている。ご参加くださったご父母の皆様、ご協力いただいた関係者の皆様から感謝申し上げます。

財務部 出口 武志

四季雑感



コロナ禍直前に奈良から越してきた。爾来、小さなことばかりだが何かと驚くことがある。着任前の住居探しの帰路、総武線の車窓からスカイツリーの背後に富士山の(白暮れ時だったせい)大きな影が見えたのが最初。一方入居したアパートからの眺めは360度

この日は、私がひそかに想いを寄せる男性アイドルデュオ「KinKi Kids」のCDデビュー25周年記念日。ニュースCITを手に取った学生達や、若手職員らの「はて？」「この人なんなの？」といったリアクションが目につく。しかしながら、同年代の女子職員や学生達のお母様方の中には、懐かしさに浸るくらいの方はいるであらう。

20周年の際には、デビューした年に放送された連続ドラマがスペシャルドラマとして放送され興奮していたような気がするが、今年はいくつかの音楽番組での登場が多く、毎日ウキウキ、ワクワクが止まらない。編集だよりで話題にするだけでドキドキをそわそわ。彼女か！と自分で突っ込みを入れておきます。

入試広報部 大橋 慶子

編集だより



千葉工業大学80周年を迎え、現在、年史制作が終盤を迎えている。連日のように本学の80年に渡る歴史に触れ、身が引き締まる思いをしている。そんな中、私事で申し訳ないとは思いつつ、今年一番大事な日となる7月21日に思いを馳せてい